

Nursing Skill で変わる!! 患者様の人生

—シームレスなより良いナーシングで患者様の well-being を支援しよう—

医療法人社団愛友会いきいきクリニック 理事長・院長 武知由佳子
大阪はびきの医療センター 慢性疾患看護専門看護師 竹川幸恵

慢性疾患は、緩徐に進行するため、ケアの焦点は治癒にあるのではなく、「病いとともに生きること」にある。また、急性期は病院で治療をうけるが、ケアのほとんどが家庭において行われる。したがって、慢性疾患とともに生きる人々が、在宅で安定期を長く、そして病状の進行時も身体的安定を得て人生に意味を見出し、精神的に充実した生活、すなわち well-being に到達するためには、セルフマネジメントが重要である。

では、どのようにセルフマネジメント支援を行えばよいのだろうか。まず、看護師は、患者様が症状を有しながらセルフマネジメント能力を高めることは大きな課題であることを理解する。そして、患者様の病いの体験や大切にしていること、望む生活などを対話により把握する。これらが看護の中核となり、テーラーメイドなケアを導き出すことにつながる。

決して患者様の想い、希望を教えていただく前に、一般的なケアを押しつけてはいけない。

次に、患者様が well-being に到達することを強く願い、尊重する、信じる、熱意を示すなど患者教育専門家としての醸し出す雰囲気（河口てる子 2018）を大切にしながら、テーラーメイドなケアを提供する。これにより患者様が、医療者に大切にされていることを実感し、医療者に「共にいてほしい」と望むことで、医療者は患者様に真に寄り添い、伴走することが可能となり、その結果、患者様のセルフマネジメント能力の向上に繋がると言える。

本シンポジウムでは、慢性疾患看護のエキスパートの4人のシンポジストから、well-being をめざした Nursing Skill を可視化しご紹介していただく。より良いナーシングの実践、そして看護の醍醐味、看護の素晴らしさを再認識・共有していただければ幸いである。